

のり面施工業の有久井田工業（津山市）と岡山大学は、半永久的な効果が期待される防草工法を開発しました。光を遮り生育させない工法で、既存の工法では、防草シートの場合紫外線などで劣化しやすく、直接モルタルを施工する方法もモルタルと土の間に入った雨水が凍結し亀裂が入ることがあるなど耐久性の課題があり、建築資材に用いる金属製の網に繊維などを混ぜたモルタルを塗った構造材を、雑草を覆うように地面から10cmの高さで設置するアイデアで解消しました。写真は左から、岡山大学大学院環境生命科学研究科で植生管理学を研究する中嶋佳貴助教と、高山信美社長です。

...

